

平成28年4月26日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後3時30分
閉会 午後4時45分

- 2 出席委員
- | | |
|-----|----------|
| 田 中 | 教育長 |
| 関 | 教育長職務代理者 |
| 吉 岡 | 委 員 |
| 江 口 | 委 員 |
| 若 本 | 委 員 |

- 3 欠席委員
な し

- 4 出席事務局職員
- | | |
|-----|-------------------|
| 山 本 | 教 育 部 長 |
| 白波瀬 | 次長兼総括指導主事 |
| 吉 村 | 教育総務課長 |
| 土 岐 | 学校教育課長 |
| 河 原 | 社会教育課長兼中央公民館長 |
| 大 西 | 社会教育課人権教育担当課長 |
| 難 波 | 教育研究所長 |
| 永 田 | 学校給食センター所長 |
| 黒 川 | 文化資料館長 |
| 中 川 | 教育総務課副課長兼総務係長事務取扱 |

- 5 傍聴者
なし

- 6 議事の概要
- (1) 開会
○教育長が開会を宣言。

- (2) 前回会議録の承認

平成28年3月25日に開催した定例会及び4月4日に開催した臨時会の会議録について承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・提言を受けた新資料館構想の冊子ができた。後程、資料館長から説明する。
- ・4月8日と11日に小中学校の入学式が行われた。今年の入学生は小学校が803名、中学校は806名、それぞれ厳粛でいい入学式であった。
- ・幼稚園でも4月12日に45名の新入園児を迎え、お母さんお父さんと一緒に門をくぐり、元気に入園した。3歳児40名と4歳児も5名あった。
- ・4月のイベントとして、出雲大神宮の鎮花祭、愛宕神社の鎮火祭などが行われた。出雲大神宮では地元の方による出雲風流花踊りが奉納された。また愛宕神社でも伝統行事として鎮火祭があり観光客も多かった。
- ・4月23日に、安詳小学校では「心をつなぐ日」の取組が行われた。後程、次長から説明する。

◎国・府等の関係

- ・4月19日に南丹管内の教育長会議が行われた。主な内容は、全国学力学習状況調査で課題のある理科で、実験や観察が十分にできていないとの指摘があり、小中学校の先生方の特別研修会を開催したい。小学校の外国語教育については、小学校の先生方のスキルアップのための研修会をしていきたい。大量退職時代になり、中堅の先生に活躍してもらい、中核になる先生を育成するためのセミナーを開催したいことを強調された。亀岡市においても共通の課題であるので、局のセミナー研修会を積極的に活用していきたいと思っている。
- ・南丹管内の教育委員会連合会のあり方についても議論がされた。南丹市はまだ旧制度であり、亀岡と京丹波は新制度になっているので、今年は足並みが揃っていないが、5月11日の管内教育委員会会議で、前任の竹岡教育長に代わって会長をすることになる。
- ・近畿の都市教育長協議会が奈良県で行われた。平成28年度の活動計画や予算に審議が行われ承認された。講演会では、五條市の歴史についていろいろと聞かせていただいた。
- ・南丹管内の小中学校長・幼稚園長会議が4月26日に日吉町で行われた。

○教育長報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

委 員 前教育長の時もお伝えしたが、教育長は大変多忙で土日も休みがとれないと感じている。今回、教育長と委員長を一人で行うことになるので、さらに多忙になる。職務代理者もおられるが、私たちもイベントの参加など協力はできると思うので、遠慮なく声をかけてもらえれば

よい。

それから、入学式の人数をみているとやはり減少しているが、今後の推移などはどうか。また中学校への進学の際にどれくらいの子どもが市外の学校へ行っているのか。

事務局 児童数については、概ね右肩下がりだが地域格差が大きく、特に周辺部で大幅に下がっている。しかし、J R 沿線の学校では増加傾向にある。
中学校への進学については府立、私立等へ進学しているのは、卒業生 800 人のうち 50 人程度である。

委 員 深刻なのは、小規模校では小学校卒業生の半分の人数しか亀岡市立の中学校へ入学していない学校がある。保護者の考えなどもあるが、これはどうかと思う。

委 員 市立幼稚園の入園児は去年は定員に満たなかったが、今年はどうか。

教育長 今年の 3 歳児は 20 人が、2 クラスで満杯になった。
4 歳児はまだ少し余裕がある。

委 員 先ほどの中学校への進学であるが、勉強かスポーツをどちらを重視するかなど内容はわからないか。

事務局 数値的な資料はないが、割合としては、スポーツは一部で学習面が大きい。

(4) 報告事項

- ① 亀岡市立幼稚園条例の一部改正について
- ② 亀岡市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
- ③ 生徒指導上の問題事象について
- ④ 平成 28 年度国・府等の研究等指定（委託）事業について
- ⑤ 訪問型家庭教育支援事業について
- ⑥ 平成 28 年度管内小・中学校・幼稚園計画訪問について
- ⑦ コミュニティ・スクール導入等促進事業の実施について
- ⑧ 平成 28・29 年度南丹地区教科用図書採択協議会事務局について
- ⑨ 放課後児童会学年初めにおける受入れ状況について
- ⑩ 亀岡市人権啓発推進協議会人権教育啓発指導員の委嘱について
- ⑪ 平成 28 年 5 月教職員研修講座のお知らせ

⑫サイエンスフレンズ学習クラブ（募集）について

⑬文化資料館平成28年度事業等について

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

＜生徒指導上の問題事象について＞

委 員 問題事象が減っているのは、喜ばしいことであり、先生方の生徒指導上の努力の成果であると思っている。先ほど市独自の調査と話しがあったが、どのようなものか。

事務局 毎月、学校から報告があるものを取りまとめたということで、調査方法については、府の要綱に基づいている。

委 員 実際に学校において問題事象があるかどうか、実際にあっても校長、教頭が知らないという場合もあると考えるが、この調査内容については、管理職も把握しているか。

事務局 基本的にはそういうことである。
情報の連絡報告や初期対応の重要性等については、校園長会議や教務主任会議、職員会議などで再々話している。

委 員 窃盗や暴力、不登校はわりと見えやすいが、いじめやスマートフォンは校外であり見えにくい、そのあたりはどうか。

事務局 スマートフォンについては、個人が持っており立ち入れない部分があるが、ブログは、府がチェックをする民間会社に委託しているので、それに引っかかった情報は、学校を通じて個人に削除の指導を行っている。昨年の1月30日には、「児童生徒の携帯電話やスマートフォン等の仕様に関する提言」を小中学校やPTA、教育委員会の連名で各家庭へ通知しており、小学生は9時以降、中学生は10時以降は保護者が預かるか、フィルタリングをかける等、保護者の意識を高め事象を未然に防ごうと取り組んでいる。

委 員 スマートフォンをどれくらい小中学生が持っているか調査を行ったか。私の大学では、ツイッターをしている率は95%で、だれか一人が言うと全員に広がる。調べにくい、どのくらい持っているかわかると概要も見えてくるのではないか。

事務局 全国学力学習状況調査の中で、「どれくらい使っているか」との質

問項目があるので、把握はできている。

教育長 昨年、仏大の先生のアンケートを見ていると、京都市内では早くから携帯を持つ傾向があったので、結果としてスマートフォンを持つ時期が遅くなっている。携帯を持たないと規制がかかっていた地域ほどスマートフォンの率は高くなっているとの結果であった。

委 員 大学生でも一番のトラブルの原因はLINEであり、グループから抜ける場合などに人間関係がこじれる事例もある。

<管内小・中学校・幼稚園計画訪問について>

委 員 小中学校の計画訪問は、事後の資料等の情報共有は行われているのか。他の学校の先生方もレスンプランなどを知りたいと思われる場合もあるのではないか。

事務局 計画訪問の資料については共有していないが、教科の指導については、教育研究会など年に3～4回は共有の場をもっている。

委 員 英語については、小学校の5・6年生で実施するとなった場合も考えて、中学校ではどんな指導をしているのか。情報共有の機会を増やせば学力向上にもつながるし、中学校との連携の形も見えてくると思う。デジタル機器を使った情報共有も考えられる。

<訪問型家庭教育支援事業について>

委 員 曾我部小学校が選定された理由は何か。

事務局 南桑中学校ブロックでは、学力向上や、貧困家庭対策にも力を入れており、その関係としての取り組みである。「学び生活アドバイザー」を稗田野小学校などに配置しているが、曾我部小学校にも人的措置として支援していこうとするものである。

委 員 学び生活アドバイザーや生活支援員の配置の状況はどうか。

事務局 学び生活アドバイザーは既に配置されているが、支援員は予算の関係でこれからとなる。

教育長 国の補助事業を予定しており、6月補正予算で整理でき次第、できるだけ早い時期に対応したいが、まだ国から正式な通知がきていない。

＜サイエンスフレンズ学習クラブについて＞

委 員 募集人数を大幅に上回るとの話であるが、来られない人や理科の授業で使えるようビデオ等の準備はできるのか。

事務局 毎回、写真を撮って資料にしており、フレンズクラブの広報紙も作って周知している。

委 員 ビデオを使えば、効果も高まる。要点を短時間でまとめることや、iphone などの動画でもいい。

事務局 中学校の生徒数も減少し、科学クラブ等文化系のクラブも減っているだけに、このサイエンスクラブを大切にしていきたい。

＜コミュニティ・スクール導入等促進事業の実施について＞

委 員 全国的な成功例もあると思うが、亀岡は東別院小学校からということであり、学校運営協議会をつくるにあたり地域の理解はどうか。学校規模適正化との絡みもあるのか。以前に実施したときは、人事面においても地域から意見が出たと聞いているが。

事務局 以前は西別院小学校で実施していた。今回は適正化に向けた施策の一つとして実施していく。地域から小規模校の特色化をとの声があり、それを受けたものである。メンバーは推進委員会を立ち上げて順次進めることになると思う。また人事のことについては、文科省から、その意見をすべて聞くことはないことが示されており、柔軟に考えたい。すでに導入したほかの学校のアンケートでも人事に関することは、十数パーセント程度という結果もある。

(5) その他

①亀岡市文化財調査報告書第90集について

②次回教育委員会の日程について

次回の定例教育委員会を平成28年5月25日に開催することとした。

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上